

梅の香り

11月19日（水）に、今年度の第2回梅坪台中学校区コミュニティ・スクール連絡会議が梅坪台交流館で行われました。その概要をご紹介します。

第2回 梅坪台中学校区コミュニティ・スクール連絡会議

《 構成メンバー 》

市議会議員、自治区長（上原・東梅坪・京町・梅坪・西山）、梅坪台交流館長、地区民生児童委員協議会会長、企画部会長、青少年育成委員長、福祉・健康委員長、まちづくり委員長、広報委員長、梅坪・浄水スポーツクラブ理事長、地区高連会長、校長（梅坪台中・梅坪小）、園長（梅坪こども園・まふみ幼稚園）、梅坪台中PTA育成担当、梅坪小PTA会長、教頭（梅坪台中・梅坪小）、地域学校共働本部長、地域コーディネーター（梅坪台中・梅坪小）

1 梅坪台中学校区コミュニティ・スクール連絡会議の「目指す子ども像」、「ねがい」

《 9年間で育てたい目指す子ども像 》

豊かな体験を通して、「ふれあい」を楽しみ、「つながり」を深め、地域の一員としての喜びと絆を感じられる子ども

《 ねがい 》

- ① 多様な交流活動や体験活動を通して、子どもと学校と地域の結びつきを強め、「地域で育てる学校」「地域が育つ学校」を目指す。
- ② 小中連携などの多様な交流活動や体験活動、また、地域での活動を通して、子どもたちの「主体的な判断力や行動力」「コミュニケーション能力」の育成を目指す。

☆目指す子ども像育成のための学校間の連携や学校と地域の連携方法、また、中学校区の子どもたちの健全育成について協議し、必要な方策をとる活動を行っていきます。

2 令和7年度の重点取組事項の設定

（1）重点取組事項

豊田市一の挨拶ができる子を育てるために学校と地域ができること

（2）設定の理由

- ① 目指す子ども像「地域の一員としての喜びと絆を感じられる子ども」の第一歩として、再び挨拶への取組を見直したいと考えたこと。
- ② 昨年度の会議の中で、地域の方への挨拶ができる子どもたちが少ないという現状が報告されており、地域の方への挨拶ができる子どもを育てるためには、学校と地域の連携が大切であること。



(3) グループで意見交流

- 自宅の前でいつも挨拶をしているが、大きな声で言うことと挨拶を返してくれることを期待しないようにしている。
- 挨拶をする側もベストや帽子など安全を感じさせるスタイルが必要である。
- 何よりも家庭がベースである。家庭でしっかり挨拶ができていれば、挨拶が自然にできる子になる。家庭から自治区、地域へと広げていくことが理想。
- この数か月間でどのような進展があったかという点、特に何もできなかった。従来と同じ感じであり、梅坪台共通の挨拶バッチなどを付けるなど、工夫が必要である。そうした取組を通して、バッチを持つ人が増えるとよい。
- 見守りや立哨をしている人には、必ず挨拶が返ってきている。
- 通常とは違う起爆剤となるあいさつに関するイベントが必要ではないか。
- 子どもたちの年齢によって挨拶ができる、できないも違ってくる。それぞれ違う対応が必要になってくるのでは。
- 地域の交通安全立哨に挨拶運動もセットにするとよい。
- 子どもたちと顔見知りになる機会を増やすことが必要である。
- 挨拶だけでなく、少しずつ会話を取り入れていくことができるのではないかとよい。
- 「挨拶をしなければ」、「挨拶をしたほうがよい」という気持ちを持たせることが大切。
- 仮に挨拶が返ってこなくても、挨拶をし続けることが必要である。



3 学校の行事等の活動について（梅坪台中学校 日高校長、梅坪小学校 山田校長）

- 先週インフルエンザが流行りだし、3クラスが学級閉鎖となったが、現在は落ち着いてきている。学校の様子については、ホームページで毎日、更新するようにしている。9月に3年生2名が海外派遣に参加するなど、学校行事も含め、以前の活動が再開できている。10月の合唱コンクールでは3年生が素晴らしい演奏を披露し、大変な好評を得た。月末には1年生がボランティアフェスティバルで地域の方に大変お世話になり、感謝している。
- インフルエンザによる学級閉鎖が1年生であった。欠席は多めではあるが、今は落ち着いている。9月に障害のある子も招いて防災キャンプを実施し、体育館での避難所体験など大変よい活動ができた。5年生のキャンプも無事終了し、10月の保健の授業や11月のスポーツフェスティバルもしっかりできた。12月に縦割り活動の「なかよしフェスティバル」、PTA主催の性教育の講演会を行う予定である。



4 部活動の地域移行について（豊田市役所生涯活躍部スポーツ振興課）

- 令和8年9月以降、学校（教員）に代わって地域の方が指導者になり、豊田市と各学校の地域学校共働本部が運営者となる「とよた地域クラブ活動」がスタートする。
- 梅坪台中学校では、ボランティア部の指導者だけがいけない状況であり、募集中である。